



特定非営利活動法人

全国万引犯罪防止機構

理事長 河上 和雄

東京万引き防止官民合同会議がスタートしてはや二年になります。この間、万引犯罪撲滅にご努力いただいた関係各位に敬意を表するとともに感謝申しあげます。

普通の人々が犯してしまう万引きや自転車盗のゲートウェイ犯罪の背景にあるのは社会規範の低下です。樋口総監が不転の決意で進めてこられた万引き撲滅活動は、警察への全件届出や届出書類の簡素化などの成果となっておりませんが、その根ざすものは社会規範の大切さを再認識する活動にほかなりません。

昨今の犯罪や不祥事の背景には、対話不足や共生思想の不在があるように思われます。万引き撲滅に対し社会がどのように対処できるかが犯罪の起きない社会作りの試金石になるため、社会総ぐるみで未然防止、感銘力のある措置、立ち直り支援等を行う必要があります。これは誰かの問題ではなく国民一人一人に関わる責務なのです。

残念ながらこの会議の情報が末端組織や売場のスタッフまで届いていない状況があります。関係者が本気で臨まない改善は進みませんし、さらには現場からも適切な情報が上がってきません。それは対話が不足しているために万引き対策が先送りされていることを意味します。人を犯罪に走らせないためには常に仕事を見直すことが求められています。

結びに、この会議が持続的で実行力のある組織であり続けるために、引き続きご指導のほど宜しくお願いします。